

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来（山中総務長官1次、2次、3次訪沖）(3)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-24 キーワード (Ja): 山中総務庁長官, ランパート米国高等弁務官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43267

新聞報道

45年5月10日琉球新報(朝刊-1面)

45年5月13日琉球新報(7刊)-1面)

復帰準備施策に反映

十九日來沖に意欲の山中長官

〔東京〕二十一日新潟支官は十九日と会い、復帰準備についての意見から二十五日まことに神撫を訪れる。そこで、現地の声を復帰準備実施にことなりが、六月にも再び訪れて復帰準備策となる。今度の訪ねは神撫・北方対策行か。山野大臣(内閣)、田沼副幹事長花岡多喜子(内政)、大蔵省からも柏原正馬(農林)らが内閣として参 加する。政策ではなく政策立案の重きに立ちたてて、その成果が自説される。山野官房長官の意図的動かで、まずランバート等兵務官と基盤労働者の間接用廻り、琉球政府の財政監視化、今後の復帰準備の進め方などを改めて交換する。一方、官房主計室をはじめ各政財界、地方幹部、那覇市やゴトクの代表が、当初は西表島も視察する予定だ。これが実現されると、それが実現せば、琉球の開拓が進むる。一方、琉球政府の財政監視化によっては、琉球財政の改善が進むる。また、琉球政府の財政監視化によっては、琉球財政の改善が進むる。

某 来年度援助予算で考慮する場合
色にし、ます大臣省を認得しな
ねばならず、そのため大臣省の迎
撃に対する認識をあらためさせ、
理解を深めさせ、ちとくうのび
ある。

45年5月18日琉球新報(朝刊)-1面)

譜寫 (原刊) 二面

45.5.19

二九種情報報告
佐々木君の申入
入院證明(4月5日)

87項の要請

87項の要請 埼玉県政府が訪沖する山中長官へ

【那覇・竹崎昇眞（八日癸）】 異議官はじめ政財界代表らと会としている。

山中総務長官は十九日来沖する談、さらに沖縄、鹿児島、宮古等、無理政府が主めた要請事項が、琉球政府は、山中長官への要石垣西島現地踏察するが、琉球は、同政府の企圖、通販、輸送な請事項を十八日もじめた。山中政府としては復帰を七年に控えて、今回の復帰の英節を機に復帰部で八十七項目及んでいるが、第一・金銭の（元年）もの多くは、冲縄県の第（二）より「増殖」と

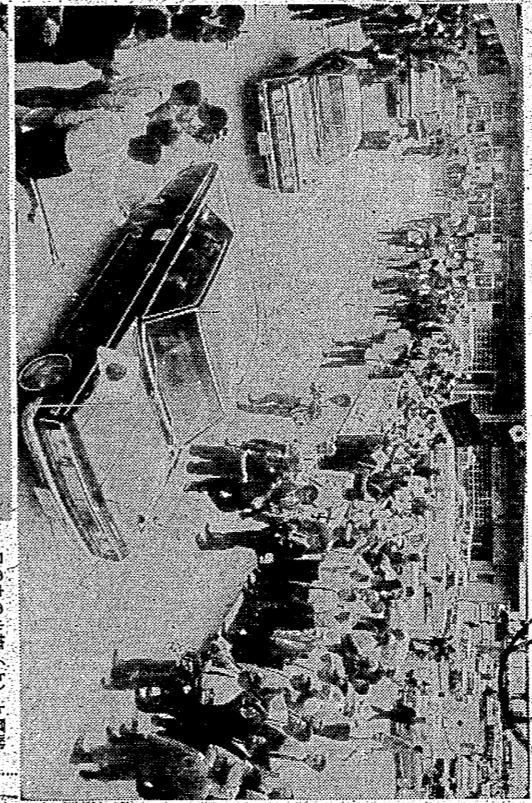
開発局の設置を 総務長官に89項目要請へ

沖縄 5月 19

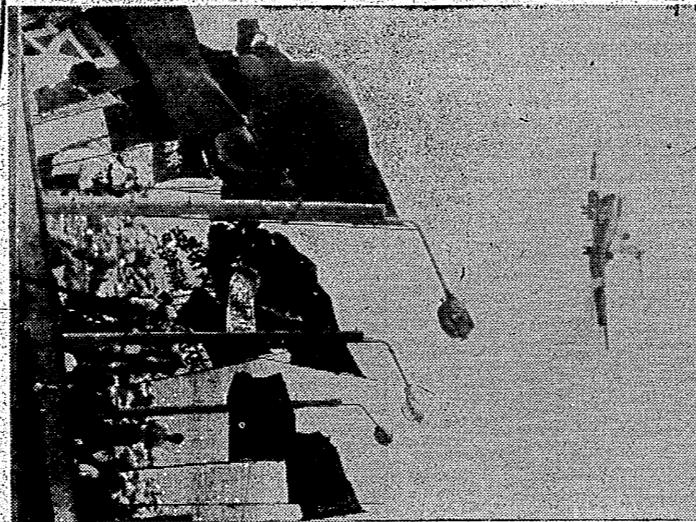
昭和5.5.19 流城新報 朝刊(1面)



45年5月19日沖縄夕又山又(朝刊一面)



の赤旗(下)が対照的



徴逃と抗議の声 空港に日の丸と反戻

九と反戦旗

45年5月20日 沖縄タイムス(朝刊 1面)



山中長官

「日本は島国である。島の守護は、國の命である。」

と語る。

山中長官

は、

きのう島間接雇用、自由港構想も

不安のない復帰推進

「島へ戻り」と書かれた丸いバッジ。

山中長官

は、

45年5月20日沖縄タイムス(7刊-1面)



財政硬直化、毒ガス撤去について屋上
主席の要請をきく山中長官（左）

財政手当て要請

山中・屋良会談

るからつかひかない。安部内閣は急にやつてゐたことはアレよりも、金重問題については本筋で、府が御船に対する特別給付金を領内に出したことが過誤手当の結果の系口になつた。と審議の意見が表明、ひきつき間接雇用問題の実施を進めてほしいと要請した。山長官は外公事上で協力合意をすましてゐるが、これに追加して答えた。

「おなご、山長官は早速至らやうに一時から法務議長、平田富士、裁判所首長等三権の長と連絡した。席上、星議長が國政参院の裏面時期についていたじたのは、し、山中良吉が油煙側とむじかん話し合して決めた」と答えた。

45年5月20日琉球新報(朝刊一面)



交付税方式は困難

アルコ社の進出、現地で判断を

復帰後で各界の意見聞く 記者会見

中總務長官會見者記

（つづき）親父の制約。正一
定地域を絶対するところを
られるが、現地の風を聞いて、行
められた。
（つづき）アルの通出で歸る
がどうかは警察局が判断すべき
もので、とやからいな。
山中長官の隨行人は次のとおり
▽山野幸吉・沖縄・北方烈賓行
長官▽船後正道・大蔵省主計局正
次長▽田辺博通・沖縄・北方烈賓
行副監部長▽西山烈次郎・逓便
官房海軍機密室長▽及川昭伍・
経済企画庁官房調査官▽治谷礼次
・沖縄・北方対策室・総務部振興課
長▽花岡幸三・同事官▽追水久
四

45年5月20日琉球新報(7刊-3面)

45年5月20日 沖縄タバコ入 (7形-3面)

長官はわくもタフ・ガイ・ぶり

貧乏財政聞く

暴力問題専門家を派遣し調査

十九日来沖した山中良輔長官は、から屋良主席に入きで話す

二十日からひつし組み入れて分
シユールしたがって、各課会場
との接触に動き出した。同日は午
前九時半から那覇市内の琉球神社
を参拝したあと、高須組総領事
日本政府代表をすね、十時半

平田尊謙税官員開港等ら三十
分間にわたって懇親した。そのあ
とは行政府中庭の琉球銀行を行な
い午前中の日程を終った。

一方、随行の船橋信造大蔵省主
計局次長ら六大臣監視官等で高須
企画局長、糸浦主監視長から財政
事情と長期経済計画について聴取
を受けた。

山中長官の会見のあと、屋良
主席は記者會見し、會のもう
について次のよう語った。

「私は琉球政府と謂しては、
る財政問題、暴力問題、軍用

者の間接雇用への対応などについ
て要請した。これに対して山中
長官は「要請の件は、本州政
府としても協力する」と答えた。

「財政問題について、本土政
府の沖縄援助がきまつなどの経
過たどえは米国側の削減、自
主財源の再検討による沖縄組成の

過程を説明した。沖縄は、
に復帰をひかえてやらなければな
らない事業が山積している。だが
支出来づきを拡大しなければな
らない。それが県民福祉に影響する

し財政運営上の基本姿勢を説
明した。これにて大臣は「支
出にたいしませう」方にはよいと思
う。しかし、購入は健全な点も
あるので、總括していきた
い」と答へ。本政府の四十六年

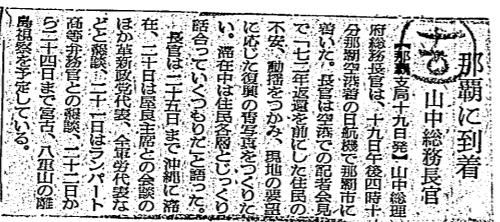
度予算が固まる八月末までに琉球
政府と二種との問題を考えてい
くことになった。

「暴力問題については、立
法院の法議より、外交ルートに
おせて安東早急に渡して取り
うちよつ本政府からも米側に働き
かけられた。安金対策には
答付られなかった。

屋良主席は本州を訪問して財政問題などについて
面接を受ける(左)。と屋良主席(右)



昭和 5. 20 朝日新聞(乙面) 朝刊



昭 65.5.20 朝日新聞 朝刊(2面)

中繩
立法院が抗議決議
毒ガス兵器敵云躍り一

【那覇】 広報記者九日発 城採訪した。この決議は選考への敵、公論を強調していることに抗議して、日米通商、委員会の設置を要求している。いわゆる「この最も貴重の、向にいた「選考」は敵即時撤去するもので、敵作業の障の害出され、沖縄中部の知化野路開拓に呼んで運び出す作業は数日間去」の緊急決議を賛成、社会大が実施していく側面が「一切賛成している議会は、光國防備とみなれる。既に内地から来た人々、衆院へ歸るに際して、約十人の選舉人は入選して、約十人の選舉人は落選する。」

しており、作業場面の沿道住民の安全がどういう形で確保されるのか、琉球政府当局は深刻に心配している。

鹿児島県、県立法務課長のほか、これまで側面に対し「米国内の輸送経路や安全対策は公表されていない」ので、沖縄では「とにかく秘密にして」といふのはなぜか。難難の必要があるのではないか。秘密にしておくのは国民蔑視であつて間違つたが、口頭で申入をされ、またが米側は「作業が始まる間に

45. 6. 20. 読売(朝刊-2面)



45 . 5 . 20 . 每日 (朝刊 - 2面)

後三事前本並みに
勞務者の山中長官、那覇で語る
都司十九日猪木特報■山中
務官は、ラバーパー米高岸弁
務官の招きにより、十九日午後四時十五分那覇前の日焼海岸、山野
泊。北方対策室長等を同行。入金六百円がの割引については、就任後初めて沖縄を訪れた。昨秋の日米共同声明解禁以来、閣僚の
訪問はこれが初めてである。空港では屋久琉球政府の張り出で、アリ
ー民政官など閣僚数名の出迎えを受け、その他の閣僚も同様に迎えられ
た。猪木は、ラバーパー米高岸弁へ
接見は「軍事的問題の直接利用」の移行は「復船前に実質不利益」
などの点を明らかにした。

45. 5. 20. 廿二日 (朝刊 - 2面)

45. 5. 20 東原 (朝刊→函)

自由貿易港進める

山中総務長官
那覇空港で語る

山中總務長官 那霸空港で語る

那霸空港は九月一日開港式典が開催され、翌日即ち二日午後四時五十分那覇空港着の日本航空の機種「ソニー」が那覇空港を離陸した。昨年秋の日米共同声明で沖縄返還が決定し、以来政府の関係者が沖縄を訪問したのは初めてである。

同長官は二十五日まで七日間といたる長期間沖縄を訪問するがこの間琉球政府、鹿児島、ランパート高等学校教員と面談するほか、沖縄の財政問題や鹿児島富翁委員長の労組幹部と会談の予定。また二十二、二十三の両日は宮古、石垣島、久高島、渡り、砂島などを離島遊観の現状を視察する。

同長官は今回の沖縄訪問で復

山中總務長官は、行政の素地作りをめざして、この機運を通じて同長官の機縁である那覇のブリーフィング会議である自由貿易地、計画を始めたとしている。

同長官は空港での記者会見で、

「沖縄のショーピング観光を始めたのは、那覇を中心としたブリーフィング会議を突っ込んだ上で、既定を失った」と述べた。また琉球政府が開設している七一年年度の認可について「琉球政府が

45. 5. 20. 日經(朝刊 - 2面)

昭和 45.5.20 諏訪新南 久利(2面)

沖縄の財政難打開

【那覇支局(十二月九日)】山口務の開連であつたと詫問、七二二と承めたのである。
投票は二日前午前、琉球政府の屋敷にて、年度予算について、琉球通用部資
料庫で約一時間会議した。この金からの借り入れを差し入れて切
り受けたいと述べた。しかし、債
主の主張はよく琉球政府の
財政難についてあつたため
に、日本間の外送ルートにの問題を
明かにし、具体的には日系商政
府で検討に廻し合意をすむ
といふ。八月までに琉球政府側の
見解を求めるよう主席に求め
た。

主席はこの財政難について、本
土政府の七二年度預助が大幅に不
足したこと、米側から米側援助削減
が決定((一千万がの見込みが十三
百五十九万)となつた)されると
が財政難のやもな原因だと説か
れての上二〇〇〇年度より七二年度予
算案に対するとは、七二年度預助と

まじで日本の金庫で、主席は毒
ガス毒氣として住民の不安が高
まっていき、それを指摘とともに
入れによる予算は不確定である
ことを強調し、本土政府との不
融通性をなくすように図しては
國を棄てて輸出促進するよう要
請、さらに本土と香ガス輸送に
近づく安価政策の専門家につい
ては防衛にも専門家はいないと
いって、また、も専門家はいないと
いふ。だが、山中良宣は専刀
にいは、「十一日、ランペー
米高官が意見を十分話し合つ
て、安価政策の専門家につい
ては防衛にも専門家はいないと
いふ。」と語った。

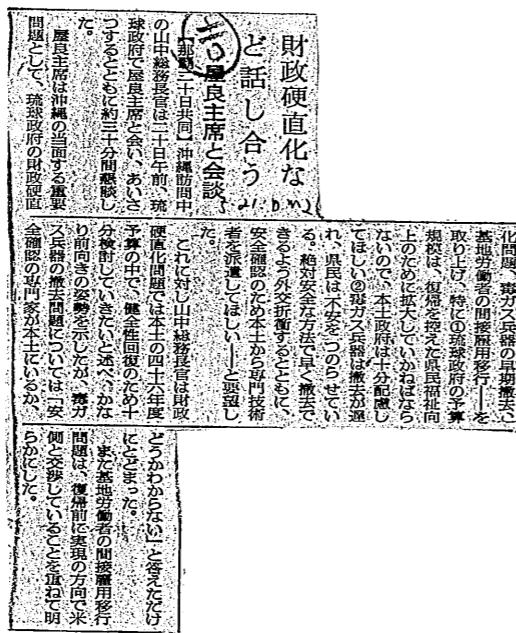
（右項）監視員は検査するが、結果で
の会員は次の通り。
一、監視官定後の方不安や動搖に
ついて想の人と時間をかけて語り合
し合い、監視官等への構造を書き
し仕方でない。
二、監視官の財政確実化につ
いて監視官等話し合い、本土の四
十六年冬季費なららの対策を
取りたい。翌年完全支給地主式は無理だらそれに近いものに
したい。
（左項）監視官は監視官の間を巡回移行
地主地小なじ懸念水火と折衝す
る。
（右項）監視官は監視官の間を巡回移行
地主地小なじ懸念水火と折衝す
る。
（左項）監視官は監視官の間を巡回移行
地主地小なじ懸念水火と折衝す
る。
（右項）監視官は監視官の間を巡回移行
地主地小なじ懸念水火と折衝す
る。
（左項）監視官は監視官の間を巡回移行
地主地小なじ懸念水火と折衝す
る。
（右項）監視官は監視官の間を巡回移行
地主地小なじ懸念水火と折衝す
る。

45年5月20日琉球新報(朝刊-9面)

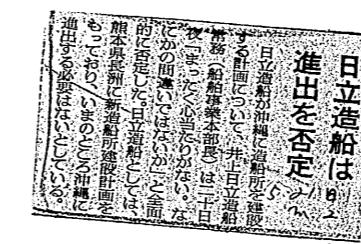


45年 5月 20日 琉球新報 (朝刊 - 1面)

46. 5. 21. 日経(朝刊 - 2面)



46. 5. 21. 日経(朝刊 - 2面)



45. 5. 21. 日経(朝刊 - 2面)

昭45. 5. 21 THE JAPAN TIMES (1面)

Gov't Plans Special Okinawa Budget Law

NAHA (Kyoto)—Sadanori Yamanaka, director general of the Prime Minister's Office, said here Wednesday that the Japanese Government planned to enact a special law and create a "special" budget account to help facilitate Okinawa's economic development after its reversion to Japan.

He also said in a meeting with local business leaders that the Government would designate Naha Port as a free port and expand the existing free zone around the port so that imported goods can continue to enjoy low tariffs.

Yamanaka, who arrived in Okinawa Tuesday, met Chief Executive of the Ryukyu Government Chobyo Yara Wednesday morning. He continued talks with local economic leaders, representatives of political parties, members of the Okinawan Reversion Council (Fukkikyo) and leaders of the All-Okinawa Military Workers' Union (Zengunro) in the afternoon.

Yamanaka also told the business leaders that the Japanese Government intended to make up for the loss which the Ryukyu Government might suffer by reducing or exempting corporate tax for enterprises advancing

into Okinawa after the reversion.

He said that some Japanese shipbuilding firms, particularly Hitachi Shipbuilding and Engineering Co., were keenly interested in constructing shipyards in Okinawa.

He revealed that the Bank of Japan would set up a representative office in Naha prior to the reversion and boost it to the status of a branch office upon Okinawa's return to Japanese rule.

After their meeting with Yamanaka, Okinawan business men said that their apprehension over Okinawa's reversion had been largely dispelled by the Japanese Government's post-reversion programs as explained by the director general.

In his talks with Zengunro leaders afterward, Yamanaka said he intended to settle the question of changing the present employment system for military workers in Okinawa by the end of the year.

Zengunro has long demanded that an indirect employment formula be applied to Okinawa base workers.

Under the proposed formula, they will be hired either by the Japanese Government or the Ryukyu Government instead of directly by the U.S. forces as at present.

財源は特別会計で 本土側で補てん

企業減免
出税へ
進の

本土側で補てん



山本總務長官

これは沖縄の要望として、企業減免制度にて、經濟開発を進む。企業進出にあたり、琉球政府行はう税の部分は本土側がでんする方針だ。アルミ企業について日立造船進出が有望であるなどと語った。

「復帰後は安心感がかかる。沖縄では、税金の問題で不安がかかる。解消された」と好感を寄せている。

形の問題だったが、日本側で詳細なことのない、沖縄では、税金の問題で安心感を寄せている。

これは沖縄の要望として、企業減免制度にて、經濟開発を進む。企業進出にあたり、琉球政府行はう税の部分は本土側がでんする方針だ。アルミ企業について日立造船進出が有望であるなどと語った。

山本總務長官

沖縄の経済開発 山本總務長官語る

【那覇二十日】広田特派員

沖縄訪問中の山本總務長官は、十四、鹿児島府訪問し

たあと、琉球政府幹部、新規開拓者らと懇談した。席上、同長官は特別会計制度にて、經濟開発を進む。

企業進出にあたり、琉球政府行はう税の部分は本土側がでんす

る方針だ。アルミ企業について日立造船進出が有望であるなどと語った。

これは沖縄の要望として、企業減免制度にて、經濟開発を進む。

企業進出にあたり、琉球政府行はう税の部分は本土側がでんす

る方針だ。アルミ企業について日立造船進出が有望であるなどと語った。

45. 5. 21 每日(朝刊 - 2面)



45. 6. 21 朝日(朝刊 - 2面)



昭和 45. 5. 21 読売新聞 朝刊(2面)

45. 5. 21 每日(朝刊-7面)

企業説致へ
の援助考慮
山中良吉
〔那須文局
〔日経〕沖縄防國
中の中山總務次官は、十日午後、
琉球政府の幹部、即ち、農政課長、
の農業開拓課長ら、八七項目に
わたらる琉球政府の要請を受けて、
案に対する法人、事業税控除政
府が免稅としてその分を本土政府
などへ手配に回された時、
力不足、銀などの支度費を、
と見合後に開拓基金として預用
するやう求めた要請に対し、山中
良吉、要請を示すその他四十
六年夏、豊かな沖縄開拓の新規公
開拓について、本土にいた雇用
形態をこして、中止実現させたとい
ふ。まことに、企業説致については企
業に付した。

潮流

（一）造船業の現状と展望

造船業は、現在、世界の造船業界で最も勢いのある産業である。その理由は、主に以下のような点にある。

- 1. 海運需要の増加：世界の貿易量が年々増加する中、造船業はそれに応じて成長している。
- 2. 技術の進歩：造船技術の進歩により、船の性能が向上し、建造コストが削減されている。
- 3. 原料供給の豊富化：世界中の資源供給地から、造船用の材料が手に入るようになっている。
- 4. 政府の支援：多くの国で、造船業に対する政府的支援が行われている。

造船業の主要な市場は、日本、中国、韓国、米国、イギリスなどである。造船業は、経済発展の象徴として、世界中の企業が競争している重要な産業である。

（二）造船業の現状と問題

造船業は、現在、多くの問題を抱えている。

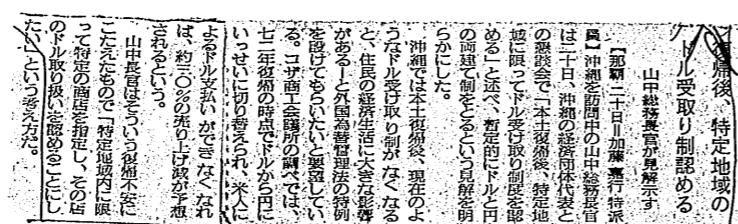
- 1. 競争激化：世界中の造船業者が競争しており、価格競争が激化している。
- 2. 資本投融通の難しさ：造船業は、大規模な投資が必要な産業であるため、融資の難しさがある。
- 3. 労働問題：労働者の賃金要求が高まっていることや、労働環境の問題などがある。
- 4. 環境問題：造船過程での汚染問題や、船舶による海洋汚染問題がある。

（三）造船業の未来展望

造船業の未来は、技術革新、効率化、環境対応などによって、ますます発展していくことが予想される。

造船業は、世界の経済発展にとって重要な役割を果す産業である。しかし、同時に、多くの問題を抱えている。そのため、造船業の持続可能な発展のために、技術的・社会的・環境的な取り組みが求められる。

昭和45.5.21 サンケイ 朝刊(2面)



昭和45.5.21 東京新聞 朝刊 2面



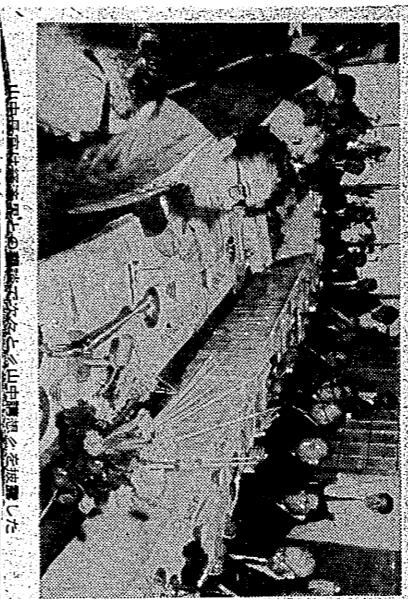
45年5月21日 沖縄タイムス (9刊-3面)



昭45.5.21 日本経済新聞朝刊
(1面)



45年5月21日沖縄久八久（朝刊）



明治維新の政治家

企業誘致に協力 梅洋博は時間的に無理が い。」

8

10

45年6月22日沖縄タイムス(7刊-3面)

45年5月22日沖縄タイムス(7刊-3面)



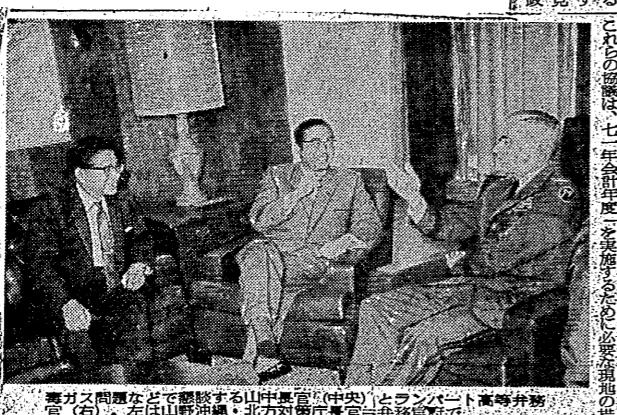
青年団協議会
が長官と会談
²² 5月22日午後九時半から市内
沖縄在西四日中の山中総務長官
は、「十二日午後十時四十五分か
ら東急会館で沖縄青年団協議
会・婦人連合会・沖縄農業開拓者
会・陸空会議などに要請をされ
た。その中で沖縄農業委員会約
一七百米の安保体制を平和を守
るために必要な社会的構造がさ
かに緩慢で不安定なままで、これに對
する改善が、結果は風維持
を主張する国民党が大勝した。國
民世論も風維持を望んでいた。
などと述べた。

45年5月22日琉球新報(朝刊-1面)

45年5月22日琉球新報(夕刊-3面)

財政、三者で協議

官長務総中山
見益七官務并



長官、基地の町へ

長官、基地の町へ
取り制度、かならず実施する

の段階で自慢な「公私両資本」は、段階でアーヴィング・トマス連絡係長も「すかすく『政治家』のまたくまでも具体的な笑顔をしていない。そのため國民的美学を沖縄にどうのせ飛躍の感覚ある。もうともいろいろな意見を出すのによくいた」と心地だ。

つぶらな眼差しの黒澤は「現状を正確に見つめらる要がある。その開拓費を明年度予算で計上する考え方だ」と述べた。

（左）元官房の市内の「アーヴィング・トマス」で、セントラル・オフィスへ向かうと、通りを歩き度を回ったが、通りも飲食の喫茶店や、日の丸の小旗などて是官邸跡的に歓迎し

45. 5. 22 每日(朝刊-2面)

45. 5. 22 朝日(朝刊)-2面)

日米琉が協議へ

沖縄の財政立て直しで
日米琉が協議へ

山中・ランバート会談合意

【那覇二十一日】日本特報軍 中 財政改革直打開 奉行ス兵団の撤
細を防ぐる山中總務官は 去、軍事労務局組成について意
二十二日午後二時から米島官公署 た。軍事労務局の雇用形態改編につ
官邸でランバート島等分離を含む 球を交換した。この結果、琉球政
い、一時間にわたり琉球政府の 府の財政立て直しにため、日米琉
三政府の事務官が協議を開始す 政府の協力する。卓識者共が一致した。また、琉球の主張をしては長官
に切替えるとの簡素化指図 が「まるで早く、住民の納
を差しめた。沖縄の本土の財政 が、「まるだけ早く、住民の納
事業上自由化されることになる。 明らかにされず、奉行スが許可さ
しは、六月一日以降、文部省は ねれるといわれる沖縄本島由来の
「那覇二十一日」沖縄住民が本土へ渡 人々の不安は解消されずに終
りた。

山中・ランパート会談合意

会談後報表がおなじ内容で、容は次のとね。
【琉球政府の財政問題】①日本政府は財政統一化にかかる方針を固め、
政府は財政統一化にかかる方針を固め、
見解を闡述するため協議する。日米
決算を総合的検討するため、日米
三政府事務局間の協議を始め
三政府事務局間の協議を始め
③協議は、琉球政府の財政などを

運営の健全な基礎の上に堅くして、
ができるようとするための指針として、
今夏末までに実現することを以て、
として行なう。

「労働者問題」の国政府は、
労働行政の「文化化」のため協力する。
②「準備委員会」は東京での外交官の
の結果を実施するため、必要な

地での指揮を検討する。内閣は必ず用意態度の改善を図り、疏遠政策が必要な場合のための機構をつくる必要がある。内閣は、内閣官房で検討する所と述べた。

沖縄財政 夏までに健全化対策 山中・ランパート会談

読売(朝刊/面)

45. 5. 22

日 経(朝刊)-2面)

45. 5. 22

日米協力で合意

山中・ラン
バート会談

【解説】「十一・特・清賀二十二日 終」山中清賀官、二十日、廿二日後三時から約一時間、米高弁務官、官邸にて、ハーバー高弁務官と会談した。会談には日本側から山口洋輔、北方支第策官および平尾同、北洋事務局長が、また、アメリカ側からはアーリー民政官が同席した。

会談後、山中長官が明づいたところによると、この会談では、
①清賀政府の財政難、
②軍事行動の実現、
③軍用形態、
④暴力による雲間屋問題、
が取り上げられた。清賀政府の財政難問題では、
「支那の外債は、東京の外債」として、
日本政府が支那政府の財政難に
関し双方の見解を述べ、解決努力するところと合意した。この問題と援助のむきで、清賀政府に将来について日本国民の福祉のための雇用制度改革、南北両清賀政府協力することになったのは、清賀側の建議を行なうもの構造を作成政府がこれまで日本政府と個別に援助を求めていたことが少しつれは一步前進し、推進していく。
また、長官としてこの問題に理解を示し、日本の提案を真剣に検討するところが現れた。

一方、清賀の問題では、長官が

45. 5. 22 東京(朝刊二面)

毒ガス撤去の
内容明示せす

山中ランパート議

【那】十一日臺灣特派員山

中務省は十一日午後、沖縄の米高官が沖縄にランパート高等弁務官などを、琉球政府の財政赤字、基地労働者の間接雇用移行、毒ガス撤去などの問題を約時間会談した。この結果、琉球政府の赤字問題について日本政府が單急に開議を始め、八月を自逾に琉球政府の財政健全化の対策をつくることが合意した。

また山長官が「基地労働者の雇用形態を改めることに備え、琉球政府は請願をつけて受け入れ事を進めた」と述べた。

ついで山田長官は沖縄毒ガス撤去をめぐる早く、問題が解決されないまま放置され、「不景氣のせいだ」と嘆息するなど、高官は「万全の努力を怠り」と述べただけで、撤去の問題や撤去の具体的な方法は触れなかった。山中長官は問題の席上、復帰後も沖縄にドル流連地城を廻り、米軍人やその家族が当分ドル生活続けるとの措置を取ると述べた。

45. 5. 22

The Japan Times (P5)

Office to Aid Okinawa Base Workers Proposed

NAHA, (Kyodo) — Sadanori Yamanaka, director general of the Prime Minister's Office, Thursday proposed setting up a new office within the Ryukyu Government to prepare for the improvement of the present employment method for Okinawan base workers.

He made the proposal in a meeting with Lt. Gen. James B. Lampert, U.S. High Commissioner for the Ryukyu Islands, Thursday afternoon.

A press release announced after the meeting said Lampert had replied that he would give serious consideration to the proposition. Yamanaka later told the press that he understood that the U.S. had agreed in principle to the establishment of the new office.

The new office, which will eventually be subordinated to the agency, will try to adopt a new employment formula similar to the indirect employment method in mainland Japan applied to Okinawan base workers before Okinawa's scheduled reversion to Japan in 1972, Yamanaka said.

Under an indirect system, either the Japanese Government or the Okinawan Government employs Okinawan base workers on behalf of the U.S. forces.

Yamanaka and Lampert also discussed the financial difficulties facing the Ryukyu Government and the question

of removal of nerve gas from Okinawa.

The director general reiterated his request that the U.S. see to it that the lethal gas stored in the island be removed as soon as possible.

Lampert promised an utmost effort to meet the request, but failed to say whether the U.S. would make known in advance the timing of the removal.

45. 5. 23. 謂堯 (朝刊 - 2面)

45 . 5 . 23 . 朝日 (朝刊 - 2面)

沖縄復帰後も限定地で
ドル使用を認めると

はなしか
ながいあ
めきめだる
出中種類
のタガ
あるわけ
大蔵省
の見方

中興の未来への展望

支那総務長官は二千一百正午から内外情勢調査会沖縄支部（支部長・星

主催の辰巳会の会員、沖縄の未来への展望」に題し、約四十分にわたり講演した。同会長は、「この講演やむろあらうとの質問に答えての沖縄列島の性的的価値が大きいので新全國連合開拓計画は沖縄の発展の問題で沖縄に示すイントをはじめて書き、このたびの沖縄開拓のために進出企業には金融・税制上の特権待遇を設ける沖縄の既存企業を保護するため、本土から進出する既存企業は行政指導でいいのか、近代化資金を生かして保護するの物が税法では直ち者物への影響など、のうのうと財團内に原則として認めないか、特例として一定期間は税法を認めるなどと明かにしてよか、再び博覧会へは「一九七三年開催は不可能無理であつひきつて税制的要する」とあらわしつづけの通りのこと。

沖縄にボイントお —新全国総合開発計画—

過疎化をす人口は九千万人に上り、アルニコ等好んでいた。しかし、国会の通商議院での
えた。これはそれが条件と云ふ。でなく、販路も、東南アジアへ広がる等井出でない。七年半後
然世があつたからで、今後も人材、財力、内需等が進むことにして、問題である。沖縄は、いわゆる
口をへらしてはならぬ。そのため、沖縄へより、米英等進出するもの、問題である。沖縄は、いわゆる
には政策をどうするか問題で、そつては、自衛力を吸収し既存、既存、やるうすれば、開拓で開拓で
存企業は融合してようにする。のが想だが、七年は今能で、の問題だが、七年は今能で、
アエルトリコはこの年間で、金融機関は本土で、は、現行主義無理で、
かりやん工農業化した。これは、である。地主領主がまともれば、國地の払いさけにてて、
企業進出に便益満喫をつから、よい。また、ソシニがいま、問じて、国地の八分山在島の、
で、沖縄についててもアエルトリコ八割の自給地で、〇〇多なかな、ので、この利用計画を琉球政府のため、
政策の対応にたい。その点、こうにしておきまわき運賃が、たゞして、琉球改修のため、
は第一に、進出企業に長期的規制をかけて元氣をほこる。大臣がするうにした方がよ。

45年5月24日 沖縄タバコ入（朝刊-1面）

45年5月24日沖縄タイムス(朝刊-13面)

買収費、これ以上出せない

候補地別にもある

パイロット訓練飛行場 山中長官、宮古で説明

【宮古】二十三日午後四時

した山中総務長官、山野課長、北

方社農林長官一行は、要塞司令、沖

縄、宮古開拓部長、UHD、水

源地などを視察したこと、午後五

時半から宿舎の宮古觀光ホテル

記者会見①地下水が豊富なため雪

古島の開拓は容易のこととの如きを

述べ、これ以上は出せば、他に候補地はあるので土地を預ける

べきであるから地下水が吹き

れば再検討しなければならぬ。

これが再検討しなければならぬ

だ。宮古・下地島のパイロット訓

練飛行場の土地買収予算認定は、

琉球政府の要求によって、沖縄

縄、宮古開拓部長、UHD、水

源地などを視察したこと、午後五

時半から宿舎の宮古觀光ホテル

記者会見①地下水が豊富なため雪

どった委員会での配分会議の結果、

官房監督官はつきの通り。

「同島をみてまわったところ、沖

縄、宮古開拓部長、UHD、水

源地などを視察したこと、午後五

時半から宿舎の宮古觀光ホテル

記者会見①地下水が豊富なため雪

一、五倍以上の予算を認められた。金額かんがいすれば半分の取扱

だ。官房監督官はつきの通り。

「同島をみてまわったところ、沖

縄、宮古開拓部長、UHD、水

源地などを視察したこと、午後五

時半から宿舎の宮古觀光ホテル

記者会見①地下水が豊富なため雪

一、官房監督官はつきの通り。

「同島をみてまわったところ、沖

縄、宮古開拓部長、UHD、水

源地などを視察したこと、午後五

時半から宿舎の宮古觀光ホテル

記者会見①地下水が豊富なため雪

一、官房監督官はつきの通り。

この島に「市」町村の区画の

ある。

「同島をみてまわったところ、沖

縄、宮古開拓部長、UHD、水

源地などを視察したこと、午後五

時半から宿舎の宮古觀光ホテル

記者会見①地下水が豊富なため雪

一、官房監督官はつきの通り。

「同島をみてまわったところ、沖

縄、宮古開拓部長、UHD、水

源地などを視察したこと、午後五

時半から宿舎の宮古觀光ホテル

記者会見①地下水が豊富なため雪

一、官房監督官はつきの通り。



45年5月25日 沖縄タイマス (9枚-3面)



45年5月24日琉球新報（朝刊-11面）

四億円で打ち切り

官刑行場買収費で説明を食い

山中綱吉は一三三四年秋、八重山から宮古入り、同四月廿二日、分から省令の宮古観光ホテルで記考観下地島ハイロード開業式。本土政府は、これ以上出資は行場用施設収入四億円(百十「万」)ない、同飛行場は県営にしては、は県政局からの要求で、これ以上追加支出するのを止められない」と述べた。しかも、地主の間では「四億円ではない。三五万円(一坪)当たり」といふのであるが、これはでは現役に付され、「これまで」の態度で、飛行場初年度の貢収は「四億円」だ。その後も「追加要求して」と、地主の説得を繰り返した。

山中綱吉の発言は、琉球政府のこれまでの説明とまつた。飛行場に新たな「石造飛行場」を立てて、山中長官同行し、県民主席砂山通直もほこの度ひいてノーハンクした。

パイロット訓練飛行場の用地は、全体で一千九百八十坪足らず(六百坪)。そのうち本政府が買上げの対象としているのは、基本施設の分で来年半額で、はれについて山中長官は「これは琉球政府の要求どおり」と答えた。

（一）當たり不ふる要本件の問題は、はきはくこと「四億円」が塊へ、既底でも出張飛行場の買賣などの四び「要求」。山中長官はこのほかの理由は水が豊富なので、金額の多さは琉球政府側の意向で、ものであつた。問題は琉球政府が処理すべきものだ」と述べた。

一方、同飛行場の説得が次第に進み、地主の間心は「予想貢金」といふべきだ」との態度で飛行場建設に賛成した。から地元での関心は予想貢金品(宮古上市)の膏腴地の開拓が必要である」と述べた。

また、平良市町村会長会議も、工事監査事務局の貢成派も、約束が違うし、地主を殺してまで、はめ殺しないとの態度を取ら

条件が違うと反対 下地島バイロット飛行場建設問題振り出しへ

25
(1)

山中発言、宮古で波紋

【宮古】用地取扱は県議会へ
からの要請あり、地代引き上げを請うて
い上下地島バイロット訓練飛行場の
にかかる十三日の山中發言を
官房は富吉に大変、波紋投
とくと同様飛行場建設に手掛

れ

る

地代

六

十

億円

用

地

取

扱

は

地

代

六

十

億円

用

地

取

扱

は

地

代

六

十

億円

扶してて元宮古商議所議長連続期

行

場

は

四

千

年間で

山中發言は賃貸

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

扶してて元宮古商議所議長連続期

行

場

は

四

千

年間で

山中發言は賃貸

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

扶してて元宮古商議所議長連続期

行

場

は

四

千

年間で

山中發言は賃貸

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

扶してて元宮古商議所議長連続期

行

場

は

四

千

年間で

山中發言は賃貸

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

扶してて元宮古商議所議長連続期

行

場

は

四

千

年間で

山中發言は賃貸

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

扶してて元宮古商議所議長連続期

行

場

は

四

千

年間で

山中發言は賃貸

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

扶してて元宮古商議所議長連続期

行

場

は

四

千

年間で

山中發言は賃貸

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

扶してて元宮古商議所議長連続期

行

場

は

四

千

年間で

山中發言は賃貸

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

西

は

扶してて元宮古商議所議長連続期

行

場

43年5月26日沖縄タイムス（朝刊-1面）



卷之九

農地法復帰と同時に適用 混乱防止に特別法

山の中の長きの間、久々に見ゆる

45年 5月 27日 沖縄タイム (朝刊-2面)



小学生の歓迎に、車からおりて手をふって応える山中長官（宮古）

山中発言を顧みる

「この攻撃はあつたことは、しい態度となつてゐられる
要求をきだい」とうへもじだうか。
た。
本庭園周辺の業者の要求は、いといひがむ地元住民
すんなあへれ世主的いの心をいのそ業者を怠のなか
經營にぞなだが八重山、宮つた八重山はある幼稚園の
古は時流のまひしの態度をみ、前で車をとめ老人や児童と言
せたのが白壁を残つた。ついで、どんどうしてかわらが
どん唐古でのハイロット訓練のいくつがまだの目ざとく見
透す問題について同長官は、つづく「同じなほじのわは
記録の質問に答えて「権力で、ことじかねない」と如才ない
政府が勝手することは考へていどいのをせいで、また唐古
うけ算盤によくはくさんへと書く。

粗放農業に「お叱り」 行政府経済計画に渋い彦

小説の歴史(3)に出馬を仕上

井長、政潤園會長代、櫻痴間の「だから士道を守らなければ再びいかつかる氣分をよし」と、思ひ入れたとされるだけ、検討しなければならない。土地「塵器、警備の第一号は吾あつて、その間に通じて、買賣は四箇目」と聞いて、古にすると延元往生院に約束、ある。また気内でやがて現れた櫻痴、大蔵官に要求した。買取手交渉として知らされている。民戸更の「日本政府として考へた」。年金法の制定に役立つたから、でないと、と云ふのが、この長。御前の臨時勅令成設議を讀む。宣傳費も記載ただく同席したのも同僚官吏よしむらしげが、してて監視官席のにも山中長門の見聞録(11回)では、むかづいた。砂糖の供給、といわれるほど、何とかなるべきもののが、おぞめながら、記者團を前に檢かれていた。山中長門が各組先で約束し、山中長門は各組先で約束し、在職経験は、復帰すれば当然である問題といわれているが、が問題である。山中長門は、山中長門の問題である。山中長門は、山中長門の問題である。

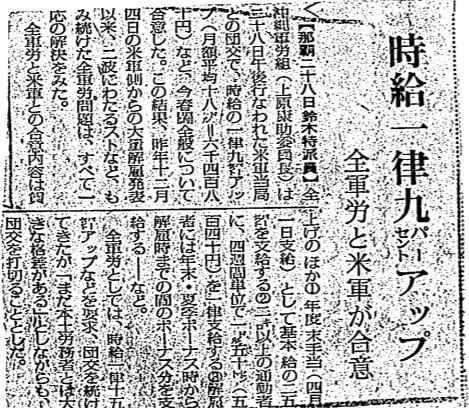
三



山中長官は視察先の各製糖、パイン工場で記念植樹をした（宮古で）

45. 5. 29. 每日(朝刊 - 2面)

45年 5月 29日 沖縄タイムス(午刊 - 3面)



東京(朝刊-2面)

45. 6. 19.

続壳(朝刊-2面)

45. 6. 20.



45. 6. 20. 東京 (朝刊 - 2面)

米に軍紅蘭正要

6月2日 沖縄訪問の山中総務長官
那覇十九日桑原特派員 山中二十三日沖縄電の日に参列
総務長官は、沖縄の難局を視察す。十七日にはランパート米高専